広報
農と輝の大地　八幡平

はちまんたい

2008.12.4
No.74

●主な内容

芸術の秋を彩る華やかな文化の祭典…02
２年で約９億３千万円の節約効果…04
話題ピックアップ…10
福祉ねっとわーく…14
学びの窓…16
お知らせ…18

今月の表紙

田山中学校（松村誠一校長、生徒33人）の３年生は11月７日、市安代保健センターで乳児とのふれあい体験を行いました。乳児健診に訪れた赤ちゃんと抱っこや着替えの手伝いをしながら交流。生徒たちは、ふれあいを通じて、命の大切さを学びました。（関連記事は11ページ）

⬆縁起の良い田頭竹の子舞を披露する田頭地域の児童たち
➡曲田先祓い保存会の皆さんは交流出演で西根・安代の２会場に出演しました

平成20年度八幡平市芸術祭

芸術の秋を彩る華やかな文化の祭典

➡西根地区からの交流出演として、安代会場で野口鹿踊を披露する保存会の皆さん
⬇浅沢神楽保存会の子どもたちは、日ごろ練習してきた成果を見せました

舞台発表

市民に芸術と文化に親しんでもらおうと、市芸術祭は11月1日から3日までの3日間、西根と安代の2会場で開かれました。

今回から、西根・松尾地区を合同で開催。昨年まで別会場に展示されていた作品などが一堂に会し、芸術を通じて交流を深めました。

期間中は、各地区の会場で絵画や書道、写真、生け花などのほか、地域の児童たちの工作などの作品を展示。丹精込めて仕上げられた作品に、訪れた人は熱心に見入っていました。会場内には、気軽に茶道を体験できる茶席を設置。本格的なお点前を披露し、来場者にお茶やお菓子を振舞いました。また、安代会場では紙芝居の読み聞かせなども行われ、人気を集めました。

舞台発表は2日、各会場で行われました。地域の郷土芸能をはじめ、歌や踊りなどが披露され、来場者を楽しませました。

また、恒例となった交流出演として、西根会場には市無形民俗文化財の曲田先祓(はらい)保存会が出演。安代会場では、同じく市無形民俗文化祭の野口鹿踊が披露され、会場を盛り上げました。

作品展示

1自慢ののどを披露する大更民謡愛好会の皆さん2コーラス白樺の美しいハーモニーに会場は酔いしれます3キッズディディは元気にダンスを披露して会場を盛り上げました4ヤマハ音楽教室の子どもたちのピアノ演奏5嘉新会の皆さんは華やかな日本舞踊を披露6本格的なお茶席を体験する来場者7展示された力作を鑑賞する来場者8紙芝居に見入る子どもたち

行財政集中改革プラン

行政改革 2008

2年間で約9億3千万円の経費節約効果を達成

市は、18年12月5日に策定した行財政集中改革プランに基づいて、より効率的な行政サービス実現のため、さまざまな取り組みを行ってきました。これにより、2年間で約9億3千万円の行政経費削減効果を実現することができました。今回は、市の行政改革についての取り組みのあらましを紹介します。

行財政改革の実行で約9億円の経費節約

18年12月5日に策定した行財政集中改革プランに基づき、市はさまざまな取り組みを行ってきました。

市は、17年9月1日に合併をしたことで、国から地方交付税の優遇措置などの財政支援を受けていますが、地方財政を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、更なる行財政改革が求められています。

市の財政状況については、広報はちまんたい10月2日号で19年度決算とともに実質赤字比率や実質公債費比率など5指標を紹介しました。こうした財政の健全性を示す指標を良くするためには、行財政改革が不可欠です。

この改革の進行を具体的に把握するため、行財政集中改革プランでは、18年度から21年度までの期間を定め、税金の滞納対策や人件費削減など、個別の項目について具体的な目標を挙げて取り組みを実施。決算が認定された18年度から19年度までの2年間において、目標を約18パーセント上回る、合計約9億3千万円を達成しました。

●表１　歳入の増加

取り組み項目	全体計画（H18～21）	計画額（H18～19）	実績額（H18～19）
税金などの滞納対策	1億4,000万円	5,000万円	9,918万円
利用していない財産の売り払い	1億4,475万円	8,027万円	3,546万円
その他の滞納整理	3,019万円	1,020万円	1,379万円
上水道事業	2,976万円	744万円	561万円
下水道事業	2,919万円	845万円	3,045万円
西根病院	1,100万円	550万円	2,035万円
その他（給食費の自然減など）	－2,088万円	－431万円	－1,351万円
合　計　①	3億6,401万円	1億5,755万円	1億9,133万円

●表２　歳出の削減

取り組み項目		全体計画額（H18～21）	計画額（H18～19）	実績額（H18～19）
人件費削減	職員削減、清掃センター・柏台出張所の見直し	10億3,203万円	3億4,001万円	3億5,418万円
特殊勤務手当削減	税務手当などの廃止	624万円	312万円	312万円
普通建設事業	学校給食センターの統合による経費、柏台出張所廃止による代替措置	－1,250万円	－1,250万円	－3,349万円
物件費	学校給食センターの民間委託、内部経費の削減、未利用地の整理など	8億1,403万円	1億5,389万円	1億6,539万円
維持補修費	清掃センターの民間委託	152万円	51万円	0万円
補助費	常備消防の再編、清掃センターの民間委託など	5億9,279万円	1億1,849万円	1億2,502万円
繰り出し金	一般会計から他会計への繰り出し金	4,500万円	2,100万円	1億2,430万円
合　計　②		24億7,911万円	6億2,452万円	7億3,852万円
総　計　（①＋②）		28億4,312万円	7億8,207万円	9億2,985万円

※　マイナス表示は、表１では収入の減少、表２では支出が増えたことをそれぞれ示します

税金滞納対策などに取り組み収入を確保

収入増加対策としては、税金などの滞納対策や利用していない市有財産の売却など、上の表１に掲げた７項目を掲げて取り組みを行いました。

最も大きな効果を挙げたのは、税金などの滞納対策で９９１８万円。次いで大きかったのは、市の未利用財産の売り払いの３５４６万円です。景気や土地需要の低迷なども あり、計画よりやや低めの売却額となりました。

これらの結果を総合すると、18・19年度の目標を約３千万円上回る１億９１３３万円の収入向上となりました。

職員数など削減して目標以上の経費節約

行財政改革において重要な位置を占める、支出の削減においては、表２のとおり７項目を中心に取り組みを進めました。

歳出削減額が最大となったのは、人件費の削減です。市の職員の数を減らすことで、３億５４１８万円を節約することができました。そのほか、事務経費などを抑えて１億６５３９万円、広域事務組合の負担金などの削減で１億２４３０万円をそれぞれ節約することができました。

これらを合計すると、２年間で７億３８５２万円の節約となり、目標より１億１千万円ほど多い効果を挙げることができました。

改革を進め効率的な行政サービス提供を

18・19年度の収入向上と支出削減の取り組みにより、合わせて９億２９８５万円の経費節約となりました。一部には、給食センターの統合に伴い、備品などの整備が必要となったことから、経費が増加した項目もありましたが、18・19年度の計画を約１億４千万円上回り、全体としては着実に取り組みが進んでいるところです。

市は、今後も行財政集中改革プランに基づいて、さらに経営の効率化へ向けた取り組みを推進。住民・地域と行政が連携・協働してまちづくりをすることで、足腰の強い行政基盤の確立を目指します。

次ページで、それぞれの取り組みの詳細について紹介します。

1 市職員削減と定員管理の推進

合併に伴う組織見直しなど、業務効率化で職員定数を削減します。

18・19年度で、38人の市職員が定年などで退職しましたが、新採用を19人に抑え、職員数を削減しました。

21年4月までに市職員全体の14パーセントに当たる65人を削減することを目標に掲げ、取り組みを進めています。合併効果を最大限に活用して組織をスリム化するとともに、市民ニーズを的確に捉えて質の高い行政サービスを提供するため、研修などを通じて職員の意識改革を実施。職員が減少しても市民サービスが低下しないよう、改革を進めます。

2 税金・保育料など滞納対策

差し押さえ・公売など、滞納処分を行って滞納額を減らします。

市税は、市の地域づくりや福祉などの行政サービスを支える基本的な収入源です。

これまで税金の滞納整理は、職員が滞納者の家庭を個別に訪問して集金する臨戸徴収を基本にしてきました。しかし、分納誓約を守らないなどの悪質な滞納者が後を絶たないことから、差し押さえなど法的手段に基づいた滞納処分を実施しています。

市は、19年度に動産・不動産を242件差し押さえ、動産の一般公売を2回、インターネットを通じた公売を1回行いました。こうした滞納処分の取り組み強化により、前年度と比較して約27パーセント多く滞納繰越分の税金を徴収することができました。

差し押さえ資産の公売を行っています

また、保育料や給食費についても、保護者に保証書の提出を求めたり口座振替を増やすなど、滞納が発生しないよう対策を実施。加えて、裁判所を通じて支払いを求めるなど、法的手段の活用などを通じて滞納対策を進めています。

こうした対策と平行して、滞納は経済的な事情から納付が困難になるなど、さまざまな原因で発生することから、個別に相談を受け付けています。分割での納付など、過大な負担にならないような方法もありますので、それぞれの担当課へ問い合わせください。

3 民間委託推進など行政経営の効率化

給食調理など、市直営業務を見直して民間の力を活用します。

給食調理やごみ処理など、市直営で行っている業務の中には、民間の力を活用する方が効率的な経営が可能になるものがあります。市は、こうした業務について見直しをすることで、行政サービスの効率化に取り組んでいます。

19年度に、西根地区学校給食センターの調理部門を民間に業務委託しました。また、松尾地区の給食調理を西根地区センターで行うため19年度に給食用コンテナプールや配送車の整備を実施。20年度から機能を統合し、施設管理経費を削減することができました。

ごみ処理業務の民間委託については、広報はちまんたい11月6日号でお伝えしたように、21年度から民間委託するため、現在は引き継ぎなどを行っています。

市は、今後もこうした行政改革に積極的に取り組み、効率的な行政サービスを提供します。

詳しくは、市企画総務部総合政策課（☎76－2111、内線1223）まで。

民間委託などで行政サービスを効率化

行政改革 2008

盛岡北部行政事務組合　平成19年度介護保険特別会計決算

歳出43億387万円を認定

介護が必要なお年寄りなどを社会全体で支える介護保険制度は、盛岡北部行政事務組合が３市町（八幡平市、葛巻町、岩手町）共同で運営しています。同組合の議会が10月24日に開催され、19年度の介護保険特別会計の決算が認定されました。

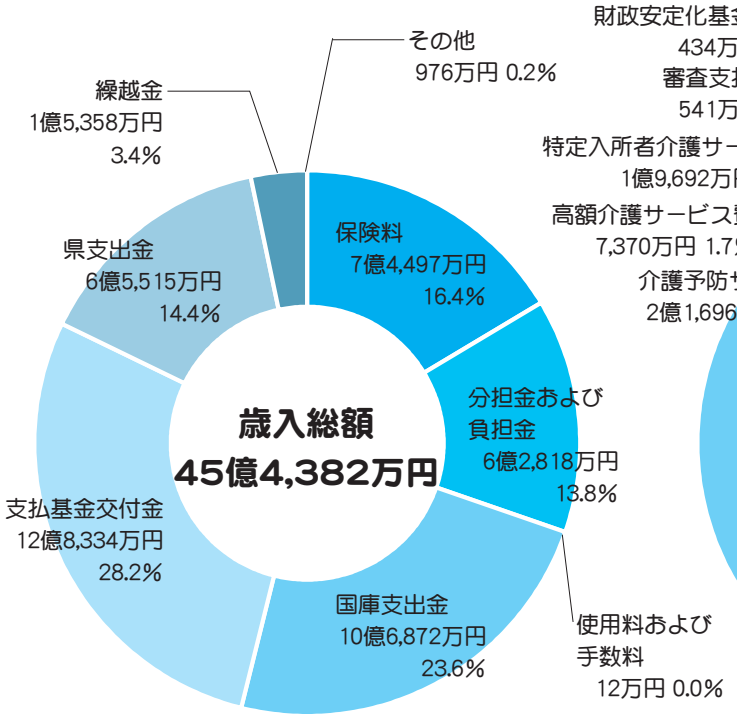
19年度の歳入は45億4,382万円でした。歳入のトップは支払基金交付金の12億8,334万円で、全体の28.2パーセントを占めています。65歳以上の人が納めた保険料は７億4,497万円（16.4パーセント）となりました。歳入の内訳は、グラフ１をご覧ください。

歳出の総額は43億387万円でした。このうち、居宅介護サービス費（30.6パーセント）、施設介護サービス費（51.9パーセント）、介護予防サービス費（5.0パーセント）、高額介護サービス費（1.7パーセント）、特定入所者介護サービス費（4.7パーセント）、審査支払手数料（0.1パーセント）を合わせた「保険給付費」が全体の94.0パーセント を占め、40億4,305万円となりました。歳出の内訳は、グラフ２のとおりです。

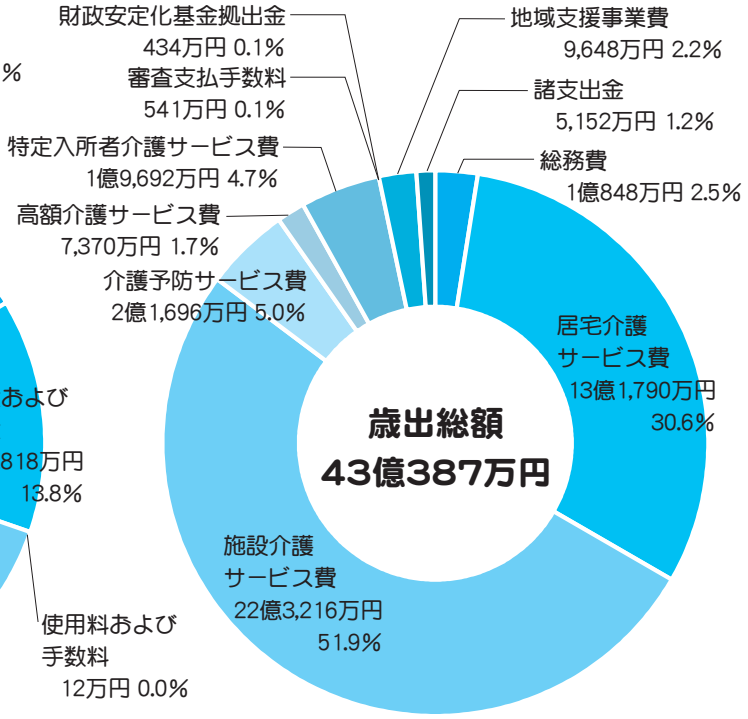
また、盛岡北部行政事務組合管内の要介護・支援認定者数など、介護保険事業の概要は表１のとおりです。

介護の相談などは、市生活福祉部長寿社会課（☎76-2111、内線1186）または盛岡北部行政事務組合（☎74-2716）まで。

●グラフ１　歳入の内訳



●グラフ２　歳出の内訳



●表１　平成19年度介護保険事業の概要（20年３月末現在）

（単位：人）

市町名	高齢者数	要介護・支援認定者数								サービス利用者数				サービス費用（給付費）
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	居宅介護	地域密着	施設介護	合計	
八幡平市	9191	159	188	216	313	248	199	235	1558	807	24	410	1241	22億2326万円
葛巻町	2863	59	90	79	103	77	64	56	528	296	2	116	414	6億5147万円
岩手町	4858	55	81	131	177	122	105	117	788	421	42	206	669	11億6832万円
組合合計	16912	273	359	426	593	447	368	408	2874	1524	68	732	2324	40億4305万円

※高齢者は65歳以上を表します

冬がやってきます

除雪に理解と協力を

市は、冬期間の降雪が市民の皆さんの日常生活や事業活動などの支障にならないよう、市の管理する道路などの除雪を行っています。

除雪作業に理解を

除雪には朝の通勤・通学路を確保する役割もあるため、降雪量によっては早朝から除雪作業を行うことが多くなりがちです。除雪車のエンジン音や作業による振動が皆さんの睡眠を妨げる場合もありますが、市民生活を確保するために、ご理解をお願いします。

宅地周辺は協力を

除雪車が通った後の玄関先などには、除雪しきれなかった雪の山が残ります。車が出せないなどの声が寄せられますが、大型の除雪車で除雪を行っているため、細部の作業は困難となります。玄関先など宅地内の除雪は、各家庭で行ってくださいますようご協力をお願いします。

民間の除雪サービス

八幡平市建設協同組合では、個人や事業所から有料で生活私道や宅地周辺などの除雪を請け負うサービスを行っています。除雪車の規格ごとの料金などは左の表を参考にしてください。

なお、これは標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度などによって料金が変更になる場合がありますので、注意してください。

除雪サービスについて詳しくは、市建設協同組合（☎70－2211）、市道の除雪などについて詳しくは、市産業建設部建設課（☎76－2111、内線1334）まで。

【民間除雪サービス表】

住宅周辺、生活私道の除排雪料金

機種	除雪車の規格	作業単価（10分）	移動単価（10分）
ホイルドーザ車（排土板）　※（）は排土板の大きさ			
小型	3トン（0.4立方㍍）	1,960	1,560
	4トン（0.5～0.6立方㍍）	2,010	1,600
	5トン（0.8～0.9立方㍍）	2,100	1,680
中型	7トン（1.2立方㍍）	2,450	1,960
	8トン（1.3～1.4立方㍍）	2,520	2,010
	9トン（1.5～1.7立方㍍）	2,850	2,200
大型	13トン（2.7立方㍍）	3,950	3,100
	16トン（3.0～3.2立方㍍）	4,500	3,600
ロータリー車（乗用タイプ）			
小型	30馬力以下	2,270	1,810
	30～40馬力	2,650	2,100
中型	72～85馬力	2,950	2,300
	120～130馬力	4,800	3,800
大型	175～180馬力	6,000	4,800
ロータリー車（手押しタイプ）			
小型	10～11馬力	1,170	930
	12馬力	1,320	1,060
	15～16馬力	1,380	1,110

※申し込みは市建設協同組合（☎70-2211）まで。
なお、表はいずれも標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度により変更になる場合があります。

長年の功績をたたえ表彰

社会福祉表彰

第40回岩手県老人クラブ大会は10月22日、盛岡市都南文化会館で開かれ、社会福祉の向上に功労のあった人などを表彰しました。

市からは、老人クラブ連合会の役員などを歴任した、市老人クラブ連合会会長の瀬川清悦さん（大更）の長年にわたる功績が高く評価され、知事から社会福祉表彰を受賞しました。

社会福祉表彰を受賞した瀬川さん

いきいきシニア活動表彰

農林水産省では、農山漁村地域でいきいきとしたシニア活動をしている人などを表彰しました。

市からは、地域の特産品の開発、郷土料理の研究、農産加工品の販売による地域の高齢者の生きがいづくりに取り組む、立花栄子さん（星沢）の長年の活動が高く評価され、農山漁村いきいきシニア活動奨励賞を受賞しました。

農山漁村いきいきシニア活動奨励賞を受賞した立花さん

教育功労者表彰

「いわて教育の日」記念行事は11月5日、岩手県民会館で開かれ、社会教育の振興に功労のあった人などを表彰しました。

市からは、婦人団体の役員や社会教育委員などを歴任した、川村サトさん（野駄）の長年にわたる功績が高く評価され、県教育委員会委員長から社会教育功労者表彰を受賞しました。

社会教育功労者表彰を受賞した川村さん

除雪作業が困難な人の相談を受け付けます

市は、除雪作業が身体的に困難な人（一人暮らし老人、高齢者夫婦世帯、障害者世帯など）のため、市社会福祉協議会、市シルバー人材センター、市建設協同組合と協力して、相談窓口を左の表のとおり設けました。雪かきを依頼したい場合は、各窓口へ相談してください。

■住宅周辺などの雪かき（屋根など危険な場所は除く）

地区名	連絡先	内容
松尾地区	市社会福祉協議会本所（☎74-4400）	○松尾地区スノーバスターズ（無料） 民生委員の調査で除雪対象世帯を事前に選定し、原則週末に実施
安代地区	市社会福祉協議会安代支所（☎72-2811）	○安代地区スノーバスターズ（無料） 除雪対象世帯を事前に選定し、12月から３月までの日曜日に実施
市内全域	市シルバー人材センター（☎64-1511）	○住宅周辺の除雪 １時間：1,080円（交通費別途）

■屋根の雪おろし、住宅排除雪

地区名	連絡先	内容
市内全域	市建設協同組合（☎70-2211）	○屋根の雪おろし（作業員１人） １時間　2,000円～ ○住宅排除雪 ２㌧車（１時間）3,125円～ ４㌧車（１時間）3,500円～ 10㌧車（１時間）4,375円～

■その他の相談窓口

◦西根地区　市生活福祉部地域福祉課（☎76-2111、内線1165）

◦松尾地区　松尾総合支所地域振興課（☎74-2111、内線2103）

◦安代地区　安代総合支所地域振興課（☎72-2111、内線3112）、田山支所（☎73-2030）

まちのニュース

心の感動を受け止めて豊かに表現をしよう

名誉市民の故江間章子さんの詩の心を継承し、青少年の健全育成を図るため、第11回少年少女の詩「江間章子賞」授与式は11月19日、西根中学校で行われました。

県内37校の小中学生から771編の作品が寄せられ、最優秀賞に当たる江間章子賞など12人に賞状と記念品を贈呈しました。詩題と受賞者は次のとおりです。（敬称略）

受賞者の皆さんと関係者で記念撮影

よさこいソーランで祝福する生徒たち

▽江間章子賞
「うさぎのおかあさん」関柚月（田山小1年）、「空」高橋美里（寄木小4年）、「光を逃がした理由」千葉洸也（奥州市立大田代小6年）、「夏の家で」伊藤萌（西根中3年）

▽八幡平市長賞
「あめ」伊藤耕多（大更小1年）、「たんぽぽ」関瑠那（松野小4年）、「習字」三浦悠斗（東大更小6年）、「出発」菅野史夏（松尾中3年）

▽八幡平市教育長賞
「おかあさんのおなか」斎藤美緒（大田代小2年）、「ほたる」石川楓（大田代小4年）、「私のばあちゃん」佐藤朱莉（田山小5年）、「ほたる」川浪優希（岩手大学教育学部付属中1年）

プロ選手からフットサルの基礎技術を学ぶ

市民フットサル教室は11月10、17の両日、アリーナまつおで小中学生やフットサル愛好者など約50人が参加して開かれました。

フットサルは、室内で行われるサッカーに似た競技で、ボールもコートも小さいことから、年齢や性別を問わず生涯スポーツとして人気を集めています。

日本フットサルリーグの最高峰、Fリーグに北海道、東北地域から唯一参戦するステラミーゴいわて花巻の選手3人が講師となり、パスやシュートなど基本プレーを中心に指導しました。

教室の後半は、実戦形式のミニゲームです。参加者は、プロ選手の華麗なテクニックを間近で体験しながら、パスをつないでゴールを目指しました。

⬆プロ選手を相手にしてミニゲームに挑む児童たち

⬅ボールの蹴り方などの技術を学ぼうと、真剣な表情で練習に取り組みます

世代を超えた交流から地域の大切さを学ぶ

田山小学校（菊池明校長、児童50人）と地域の高齢者との交流会は11月18日、舘市公民館で行われました。

参加したのは3年生の児童5人。郷土料理のがんづきとジャガイモの団子作り、絵しりとりなどのゲームで交流を深めました。参加した角舘智仁くんは「ジャガイモの皮をむくのがやりにくかったけど、楽しかった。おいしくできて良かった」と笑顔を輝かせていました。

協力してジャガイモをすりつぶす参加者

高齢者の就業を通じて活力ある地域づくり

市民155人が出席し、12議案を可決しました

社団法人八幡平市シルバー人材センター設立総会は10月23日、市総合福祉センターで行われました。

開会式で田村正彦市長は、「高齢者の力は、社会のために不可欠です。さまざまな分野での活躍を期待します」とあいさつしました。議事では、定款など12の議案を賛成多数で可決。高齢者の就業を通じて健康と生きがいを充実させながら、活力ある地域づくりを目指します。

広く市民に福祉の心をPRするまつり開催

福祉について広く理解を深めてもらおうと、八幡平市福祉まつりは11月9日、西根地区市民センターで開かれました。

会場では、ゲームを通じて楽しく交流を深めるコーナーのほか、福祉団体の活動や福祉標語の優秀作品展示、福祉作業所の作品販売やバザーなどが行われました。

午後からは演芸会が行われ、歌や踊りで訪れた人を楽しませました。

バザーなど会場は大勢の人でにぎわいました

赤ちゃんとのふれあいから学ぶ命の大切さ

赤ちゃんと交流する田山中の生徒

田山中学校（松村誠一校長、生徒33人）の3年生15人は11月7日、市安代保健センターで乳児とのふれあい体験に参加しました。

この事業は、乳児とのふれあいを通じて命の大切さや思いやりの気持ちを育てようと行われているものです。生徒たちは、乳児健診に訪れた母子と交流。母親に教わりながら、抱っこや着替えの補助をしながら、満面の笑顔を浮かべていました。

男女が共同で生きる社会について考えよう

第2回八幡平市男女共同参画フォーラムは11月16日、松尾ふれあい文化伝承館で開催されました。

岩手県立大学の吉野英岐教授が「未来志向の男女共同参画」と題して講演しました。続いて、日常の中にある男女共同参画についての問題を考える寸劇を披露。田村正彦市長などが「わかちあう、仕事も家庭も喜びも」と題してパネルディスカッションを行い、議論を深めました。

いわてヌエックの会2003の皆さんによる寸劇

来年の福を願い一足早く縁起物のえと作り

老春大学「干支くるみ絵作り」は11月17日、平舘公民館で行われました。

地域住民など、約30人が講座に参加。和紙の型紙を貼り合わせて独特の立体感を楽しむくるみ絵で来年のえと・丑(うし)作りに挑戦しました。

出来上がったくるみ絵の牛は、生き生きとして今にも飛び出しそう。参加者は、満足のいく出来栄えに笑みを浮かべ、来年が良い年になるよう願いを込めていました。

講師の指導を受けながらくるみ絵作りに挑戦します

万が一の事態に備えて火災防御訓練を実施

秋の全国火災予防運動の初日となる11月9日、西根地区体育館で市火災防御訓練を行いました。

消防団員など200人が参加。県内陸北部で震度6弱の地震が発生し、西根地区体育館から出火したとの想定で訓練開始です。倒壊した建物から被災者を救助する訓練や、各地区消防団と消防署隊が連携して、水路などからポンプ車で中継して放水する消火訓練を行いました。

大規模災害に備え、訓練を行いました

お買い物ごっこで地元の味に理解を深める

松野保育所(立柳陽子所長、園児75人)は11月14日、お買い物ごっこなどを通じて地域との交流を深めました。

祖父母らが、園児の家庭から提供された米やリンゴ、カボチャなど地元産の食材を用いて、たこ焼き、たい焼、ポン菓子を作ります。園児たちは、特製のお買い物券で好きなお菓子を購入。父母や祖父母とともに味わいながら、地域の食材への理解を深めていました。

父母などと一緒にお買い物を楽しむ園児たち

助け合いの心を込めてチャリティ演芸大会

安代地区歳末たすけあいチャリティ芸能大会は11月16日、安代地区体育館と田山中学校体育館の2会場でそれぞれ開かれました。

地域の保育所や幼稚園に通う園児たちが、この日のために練習してきたかわいらしいお遊戯を発表。小学校の児童たちは、華やかなよさこいソーランを踊り、会場を盛り上げました。

このほか、婦人会や老人クラブ、地域の有志による歌や踊りが披露され、会場を訪れた人たちを楽しませました。

⬆ゴーオンジャーになりきった新町幼稚園の園児たちによる踊り

➡苗代沢地域の有志が見せた、やぎ節と地域に伝わる先祓いをみごとに調和させたオリジナルの踊り「やぎ節マンボ」

市民憲章を唱和し地域づくりの決意新たに

八幡平市市民憲章推進大会は11月3日、市総合運動公園体育館で開催されました。

市民憲章を約300人の参加者全員で唱和し、「農と輝（みのり　かがやき）の大地」づくりに向け、決意を新たにしました。

まちづくりに尽力した功労者12人、人命救助など善行者8人を市特産の安比塗の賞状で表彰。除雪への協力など地域社会に貢献をした4人に感謝状を贈りました。

続いて、まちづくり講演会では、協働のまちづくりを進める活気あふれる大更を創る会、市観光協会が活動を紹介。大石平念仏剣舞保存会が郷土芸能、西根むらさきコーラスが美しい歌声をそれぞれ披露しました。

出席者全員で市民憲章を唱和しました

功労表彰、善行表彰、感謝状は次のとおりです。

（敬称略）

◇功労表彰▽農業委員　中軽米幸雄（松尾寄木）▽統計調査員　田村光幸（平舘）、佐藤千一（古屋敷）▽消防団員　田村栄次郎（大更）、工藤祐孝（大更）、藤原哲（田頭）、遠藤泰民（平舘）、高橋久由（平舘）、畠山義男（細野）▽交通指導員　荒沢正（帷子）、工藤輝久（大面平）、目時逸男（赤坂田）

◇善行表彰▽人命救助　八幡優花（姥子石）、工藤颯悠（姥子石）、工藤稀凜（姥子石）▽青少年指導育成　高橋一三（平笠）、渡辺力（大更）、中川原繁（荒屋新町）▽献血　小林清功（上の山）、松村由貴雄（大更）

◇感謝状▽社会福祉への貢献　遠藤三次郎（西根寺田）▽公共生活への貢献　田村武智（大更）、田村一良（松尾）、高橋安則（松尾寄木）

保健のひろば

子どもの健やかな成長 母子保健事業で応援を

市の将来を担う子どもの健やかな成長と、親の育児支援の一環として、保健師、栄養士が中心となって妊婦、赤ちゃん、幼児を対象に行っている事業を紹介します。

■母子健康手帳の交付、妊婦健診受診票の交付　妊婦、子どもの健康状態を記録するための大切な手帳を交付します。また、胎児の健やかな成長、安全な出産のために妊婦健診は欠かせません。妊婦健診を無料で受けられる受診票を最高5枚まで交付しています。

■妊婦訪問、乳児訪問　妊娠中は体調管理、出産に向けてのアドバイス、出産後は赤ちゃんの成長確認、育児相談など保護者の不安解消に努めています。

■乳幼児健診　3歳までは、人間の一生のうちで最も発達する時期です。また愛情などの情緒形成にも重要な時期ですので大切な健診となります。子どもの発達を確認しながら育児の相談を受け付けています。1カ月、3～4カ月、6～7カ月、9～10カ月、1歳、1歳6カ月、3歳の時に健診を行います。

■乳幼児相談・離乳食講習　健診以外でも、育児の相談を受け付けています。また、離乳食についての講話や実習なども行っています。

■親子教室　子どもとの遊び方、接し方を学んだり、子どもの社会性や親同士のつながりをつくるため、親子の遊びの広場を行っています。

■その他　発達についての児童相談や療育教室、また随時、保健師などが育児相談を行っています。来所相談のほか、電話での相談も受け付けていますのでご利用下さい。

子どもの健やかな成長を見守ります

親子教室でふれあいを深めましょう

心の悩みなどについて医師が相談を受けます

心の悩みや引きこもり、認知症、飲酒の問題などについて、専門医が相談に応じます。相談をご希望する人は12月10日までに、ご連絡ください。

■日時　12月15日(月)、午後1時～

■場所　西根地区市民センター

12月の松尾地区健康相談日程のお知らせ

■場所　松尾総合支所

■日時　12月8日(月)、15日(月)、22日(月)、午前10時～正午

■内容　母子健康手帳の交付、身長・体重測定、乳幼児・成人健康相談

詳しくは、市生活福祉部保健課(☎76－2111、内線1142)まで。

介護のココロ

かむ力と飲み込む力をアップして若さを保つ

■しっかりかんで「筋トレ」

虫歯や歯周病などでかむ力が弱くなると、頬がたるみ、口角が下がった表情になります。また、左右どちらかに偏ってかんでいると、体のバランスがくずれ、肩こりや腰痛、顎関節症、顔のゆがみの原因になることもあります。

よくかむことは、飲み込む能力の訓練にもなって、誤嚥(ごえん)(食べ物が肺の方へ行ってしまうこと)による肺炎の予防にもなります。

かむ筋肉は、首から背中にかけてあり、しっかりかむことにより、全身の筋トレにもつながると言われています。かむ筋肉を元気なうちから鍛えておけば、高齢になってから誤嚥したり、むせたりすることも防ぐことができます。

■かみごたえのある食材で

・食物繊維の多い野菜、豆など、かみごたえのある食材を使いましょう。

・繊維に沿って切る、大きめに切る、ゆで過ぎないなど、調理法を工夫しましょう。

■食べる機能を高める

・口腔マッサージ(頬や唇、唾液(だえき)腺を刺激する)

①あごの下を刺激する

耳の下から、あごの先まで5カ所程度を目安に、親指で突き上げるように軽く押す(25回程度)

②耳の下を刺激する

親指以外の4本の指を上の図のように当て、ぐるぐる回す(10回程度)

・舌のストレッチ(舌を横に動かしたり円を描く)

・パタカラ体操(大きな声で「パ・タ・カ・ラ」と発音する)

詳しくは、市包括支援センター(☎76－2111、内線1185)まで。

環境のみらい

私たちにもできること

マイバッグの必要性を9割もの市民が感じる

市公衆衛生組合連合会では、マイバッグ運動により、ごみの減量化に取り組んでいます。

この運動の一環として10月10日、マックスバリュ西根店とユニバース西根店で啓発活動とアンケート調査を行いました。

この調査は、同店を訪れた買い物客300人を対象にマイバッグの普及率などを調べて、今後の施策に役立てようというもので、調査の結果は左の表のとおりです。

▽マイバッグの持参率は45パーセント

今回の調査では、マイバッグを買い物に持参している人は、全体のほぼ半数に迫る約45パーセントで、市民の間でマイバッグが広く浸透していることが分かります。

▽持ってこない理由

マイバッグを持ってこない理由を質問したところ、約半数の人が忘れたためと答えており、ほぼ7割の人がマイバッグを所有していると考えられます。

▽必要性は市民に広く浸透

マイバッグの必要性は、全体の9割の人が認識し、広く市民に浸透していることが分かりました。

市は、今後もごみ減量化による温室効果ガスの削減運動に取り組みます。

問1　マイバッグを持参していますか

はい	いいえ	計
134人	166人	300人
44.7%	55.3%	100.0%

問2　問1で「いいえ」と答えた理由は

持ち歩く習慣がない	51人	30.7%
レジ袋が欲しいから	8人	4.8%
レジ袋をもらえるから	10人	6.0%
持ち歩くのが面倒	10人	6.0%
持ってくるのを忘れた	87人	52.4%
計	166人	100.0%

問3　マイバッグを持つ必要があると思いますか

はい	いいえ	計
270人	30人	300人
90.0%	10.0%	100.0%

清掃センターごみ搬入 年末は一部お休みです

市のごみ処理を行う清掃センターは、皆さんが直接搬入するごみの受け入れを行っています。年末は、次のとおり受け入れを行います。

▽12月28日(日)　一般家庭の粗大ごみ、埋め立てごみ、指定袋に入らない燃えるごみを受け入れ（午前9時～正午、午後1時～3時）

▽12月29日(月)～30日(火)　一般家庭の燃えるごみを受け入れ（午前8時半～正午、午後1時～4時半）

※12月31日から1月4日までの期間、清掃センターのごみ受け入れはお休みです。

一般のごみ収集については、分別収集日程表を確認のうえ、ごみを出してください。

詳しくは、市生活福祉部市民課（☎76－2111、内線137）まで。

食育のススメ　楽しい食事で健康な体づくり

学校給食センターは、新鮮で安心・安全な地場産品の活用とともに、児童たちと生産者のふれあいを通じて「食」と「農」について理解を深めてもらおうと、市内の全小中学校で給食交流会を行いました。

児童たちは、給食時間に教室を訪れた生産者の講話や交流を通じて市の「食」と「農」について学習。食物を作ることの大変さや、生産者が食べる人のことを考えて工夫していること、給食で使われている食材のうち、地元産のものがどれだけあるかなどについて、理解を深めました。また児童たちは、生きるために植物や動物の「命」をいただいているということを知り、食べ物の大切さを実感していました。

学校給食センターは、地元で生産された食材や学校給食を通じて、児童たちが「とてもおいしかったよ」、「残さず全部食べちゃったよ」、「苦手だけどがんばって一口食べたよ」、「この食べ物はこんな花が咲くんだよ」という会話を交わすような、一人一人の成長が見られる学校給食にしていきたいと考えています。

トマトを見せながら児童に話をする生産者の古川順子さん（松尾）

お忙しい中、児童たちに貴重なお話をしていただいた生産者の皆さん、ありがとうございました。

詳しくは、市産業建設部農林課（☎76-2111、内線1271）まで。

MUSEUM　　博物館　☎63-1122　FAX63-1123

博物館だより

博物館教育普及活動の紹介

博物館は毎年、調査・展示活動のほかに市民の皆さんに対し、歴史や文化の享受とその啓蒙を目的に、古文書講座・史跡探訪等の教養講座、実際に凧(たこ)や竹とんぼを作って昔の遊びを体験するなどの教育普及活動を行っています。今回は10月末に実施した二つの事業を紹介します。

一つめは、10月28日㈫の「中世南部氏の城館をたずねて」です。晴天に恵まれ、九戸城から剣吉城(南部町)まで南部路を北上しました。

福岡城(九戸城・宮野城とも)にて

相内観音堂・平良ケ崎城・本三戸城(聖寿寺館)・三戸城と、特に南部利康(利直四男)のお霊屋では、桃山式建築の豪華で繊細な造りが参加者を驚嘆させました。寺田にある江峰山聖福寺は北愛一が開基したと言われ、その北氏とゆかりのある剣吉城は愛一の父、信愛(松斉)が縄張りした戦国の要害にふさわしい堂々としたものでした。

二つめは10月30日㈭に実施した「稲の脱穀を体験してみよう」です。田山小学校の４・５年生18人が、千歯こき、足踏み脱穀機などを使って上手に脱穀し、かつて農村で行なわれていた秋の収穫を体験しました。この模様は、ＮＨＫ盛岡放送局でも紹介されました。

農具の説明を受ける児童たち

足踏み脱穀機で脱穀に挑戦

LIBRARY　　図書館　☎75-1700　FAX75-1701

図書館だより

冬休み工作教室・冬の映画会開催
冬休みの行事に参加しよう

■冬休み工作教室

児童・親子を対象に、毎年使えるカレンダーを作ります。当館へ事前に申し込みください。（電話も可）

▷日時　21年１月９日㈮　午後１時～

▷定員　15人　▷申込期限　21年１月７日㈬

■冬の映画会

幼児・児童・親子で楽しめるお話を上映します。

▷日時　21年１月16日㈮　午後２時～

▷内容　「雪わたり」「ピーターパン」　ほか

読書マラソン・ラストスパート！

読書マラソンは12月20日㈯までです。終了後に当館で読書冊数を確認した人が表彰の対象となります。参加者は早めにレシートファイルをお出しください。（提出期限　21年１月15日㈭まで）

新着図書の紹介

■書　名	■著　者
激流中国	ＮＨＫスペシャル取材班
雪の結晶	ケン・リブレクト
ガリレオの苦悩	東野　圭吾
前略、がんばっているみんなへ	北島　康介
おいなり山のひみつ	茂市　久美子
オリビアクリスマスのおてつだい	イアン・ファルコナー

※市図書館のホームページで、過去２カ月分の新着資料の情報を公開していますので、ご利用ください。

行事・休館日のお知らせ

▶クリスマスお話会　12月６日㈯　午後１時半～

▶おはなしのじかん（絵本の読み聞かせなど）　21年１月10日㈯　午後３時～

▶新刊子どもの本を読む会⑨⑩　12月13日㈯、21年１月10日㈯　午前10時～

▶短歌を楽しむ会⑨⑩　12月13日㈯、21年１月10日㈯　午後１時～

▶あみぐるみ教室　12月19日㈮　午前10時～

▶休館日　12月９日㈫、16日㈫、23日㈫
12月28日㈰～１月４日㈰、６日㈫

学びの窓

月刊 がっこうニュース 12月号

平成20年度平笠小もちつき集会

大地の恵みと地域の皆さんに感謝

平笠小学校(松村秀二校長、児童48人)は11月21日、もちつき集会を行いました。

４年生以上の児童たちが自分たちで田植え、稲刈り、脱穀を行ったもち米を使い、全校児童でもちつきです。保護者や地域の皆さんが見守る中、威勢のいい掛け声で拍子を取りながら、交代で元気よくきねを振るいました。

できあがったもちは、保護者などがきな粉やくるみなどで味付けしたほか、雑煮に調理。お待ちかねの試食をする前に、松村校長は「こうしてもちつきができるのも、日ごろお世話になっている地域の皆さんのおかげです。そのことをしっかり頭に入れて、感謝しながら食べましょう」と話しました。

児童たちは、地域の皆さんに感謝しながら、自分たちで収穫したお米で作ったもちをおいしく味わっていました。

地域の皆さんに感謝しながら、おいしく味わいました

掛け声に合わせて、元気いっぱいにきねを振るう児童たち

地元企業の工場見学など通じて楽しく理科の勉強をしましょう

松野小学校(藤沢英俊校長、児童139人)の６年生28人は10月28日、積水メディカル株式会社岩手工場見学を行いました。

これは、同社の社会貢献活動の一環として周辺の小学生を対象に行っているものです。施設内を見学した後には、スーパーボール作りなど簡単な化学実験を行います。児童たちは、楽しみながら化学に親しんでいました。

スーパーボール作りをする児童たち

広報クイズ　No.39
12月４日号の問題

江間章子賞に応募のあった作品数は何編でしょうか？

正解者の中から抽選で３人に500円分の図書カードをお贈りします。

◎応募方法　はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限　12月19日㈮　消印有効

◎応募先　八幡平市役所「広報クイズ係」　☆はがき　〒028-7192(住所不要)　☆ファクス　75-0469　☆メール　somuka@city.hachimantai.lg.jp

(タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は上の二次元コードからも送信できます)

◎第38回の正解　「平成22年」　◎応募者数　12人　◎正解者数　12人

◎当選者　角舘麻莉奈(大更)さん、田村エイ子(西根寺田)さん、高橋スミ(松尾寄木)さん

市民憲章推進大会・大石平念仏剣舞
（11月３日、市総合運動公園体育館）

清水マツエさん長寿祝い
（11月５日、富士見荘）

県民の森の環境学習参加してみませんか

岩手県県民の森では、次のとおり環境森林学習イベントを開催します。

■日時・定員・場所

▷ミニツリー作り　12月13日(土)、午前10時から午後２時まで・定員20人・フォレストアイ(参加料：1,000円)

▷県民の森クリスマス会　12月14日(日)、午後１時から３時半まで・定員20家族・フォレストアイ（参加料：一家族300円）

▷ミニ門松作り①　12月24日(水)、午前９時半から午後３時まで・定員20人・フォレストアイ(参加料2,000円)

▷ミニ門松つくり②　12月25日(木)、午前９時半から午後３時まで・定員20人・フォレストアイ(参加料2,000円)

申し込みなど詳しくは、県民の森・森林ふれあい学習館フォレストアイ(☎78-2092)まで。

予防接種委託病院の佐藤外科医院が閉院

インフルエンザなどの予防接種委託医療機関になっていた、佐藤外科医院が閉院しましたのでお知らせします。

今後の予防接種などについては、ほかの委託医療機関で受診してください。

詳しくは、市生活福祉部保健課(☎・内線1147)まで。

杉の子会で保育園職員採用試験を実施します

社会福祉法人杉の子会では、21年度に採用する保育園職員の採用試験を次のとおり実施します。

■募集職種　保育士(臨時職員)

■試験日時　21年１月11日(日)、午前８時半から午後４時半まで

■試験会場　森の子保育園

■提出書類　履歴書、健康診断書、保育士資格取得証明書、成績証明書、卒業見込証明書

■申込期間　12月31日(水)まで

申し込みなど詳しくは、社会福祉法人杉の子会・森の子保育園(☎70-1880)まで。

本当に安心ですか子どもの携帯電話

子どもが興味本位で出会い系サイトなどに携帯電話・ＰＨＳを通じてアクセスし、トラブルや犯罪にあう被害が依然として多発しています。こうした被害を防ぐには、出会い系サイトなどへのアクセスをブロックするフィルタリングサービスの利用が有効です。

フィルタリングサービスは無料で提供され、契約者が未成年者の場合には、親権者から申し込みが可能ですので、詳しくは携帯電話・ＰＨＳ各社まで。

おわびと訂正

広報はんちまんたい11月６日号18ページの安らかにの一部に誤りがありました。大変ご迷惑をお掛けしました。おわびして訂正します。

(正)伊藤ヨシさんの年齢→「95歳」

よろこび おくやみ

（10月届け出分）

健やかに

佐々木心優（ミユウ）　（女／一奈／帷子）
釜谷　莉音（リオン）　（女／篤／大更）
山田　恭生（キョウセイ）　（男／英介／柏台）
工藤　永遠（トワ）　（男／晴／田頭）
髙橋　司（つかさ）　（男／寛／松尾寄木）
岩渕　翔聖（カイ）　（男／忠彦／打田内）
八幡　美玲（ミレイ）　（女／拓朗／石名坂下タ）
原　尚輝（なおき）　（男／広秋／大更）
戸津　聖蘭（セイラ）　（女／英樹／大更）
八幡　紀穂（きほ）　（女／広幸／沢口）

お幸せに

佐藤　友大／荒屋新町
伊藤　麻衣／平舘

遠藤　大樹／大更
遠藤　明菜／大更

山口　智生／野駄
川島　涼子／埼玉県

吉川　伸悟／松尾
田村　由香利／平舘

斎藤　大渡／山口
荒木　志乃ぶ／山口

安らかに

島内	マツ	92歳	柏台
田村	タヨ	79歳	西根寺田
伊藤	吉司	79歳	平笠
村上	澄子	79歳	荒屋新町
安保	靖夫	77歳	田山
山本	忠芳	54歳	舘市
工藤	武雄	72歳	大更
関村	トシ子	79歳	松尾
伊藤	與左衛門	90歳	堀切
伊藤	順	27歳	帷子
髙橋	榮助	81歳	平笠
関	勝壽	67歳	石名坂
伊藤	勲	65歳	田頭
米田	正子	65歳	野駄
畠山	富二夫	82歳	野駄
小野寺	兼太郎	87歳	荒木田
工藤	正吉	76歳	大更
遠藤	長次郎	73歳	大更
阿部	キエ	93歳	西根寺田
角舘	春市	88歳	家ノ裏
角舘	サツ	82歳	和屋敷道ノ上
髙橋	格	79歳	松尾寄木
髙橋	イナ	99歳	松尾寄木

掲載は届け出順で届け出人が希望した場合だけ行っています。（敬称略）

お知らせ Information

詳しくは各部、各機関にお問い合せを
●八幡平市役所　76-2111
●松尾総合支所　74-2111
●安代総合支所　72-2111
ホームページアドレス
http://www.city.hachimantai.lg.jp

女性が元気なまちづくり座談会
（10月31日、松尾ふれあい文化伝承館）

八幡平市芸術祭安代会場・浅沢神楽
（11月２日、安代小学校）

訪問介護員養成講座受講生を募集します

岩手県高齢者福祉生活協同組合では、訪問介護員（ホームヘルパー）養成講座２級課程を次のとおり実施します。

■期間　21年１月15日㈭から３月24日㈫まで（全21回を予定）
■定員　40人（定員になり次第締め切り）
■受講料　65,000円
■場所　ふれあいランド岩手ほか

申し込みなど詳しくは、県高齢者福祉生活協同組合（☎019-653-5830）まで。

地元企業と情報交換面接会を開催します

盛岡公共職業安定所などでは、人材確保と雇用対策として次のとおり就職面接会を開催します。

■日時　12月19日㈮、午後１時から４時まで
■場所　ホテルメトロポリタン盛岡本館４階
■対象
▷企業：就労場所を盛岡管内とする求人事業所など
▷対象者：21年３月卒業予定の大学、短大、専修学生および既卒者などで、盛岡職業安定所管内の企業に就職を希望する人
■内容　企業の人事担当者との個別面談による情報交換
■参加料　無料

詳しくは、盛岡市商工観光部雇用労政課（☎019-651-4111）まで。

農業を始めたい皆さんをバックアップする相談会

社団法人岩手県農業公社では、新たな就農希望者に県内の就農に関する情報を提供するため次のとおり「新農業人フェアinいわて」を開催します。

■日時　21年１月10日㈯、午前11時から午後３時まで
■場所　いわて県民情報交流センター「アイーナ」804会議室
■内容　就農地域の紹介、技術の習得、農地の確保、資金の調達、農業法人への就農研修など
■参加料　無料

詳しくは、岩手県農業公社担い手対策部（☎019-623-9390）まで。

高齢期の職業生活に役立つセミナー開催

社団法人岩手県雇用開発協会では、高齢期の職業生活に役立つ無料セミナーを次のとおり開催します。

■開催日時・内容
▷12月９日㈫、午後１時半から３時半まで・高年齢者の健康管理
▷12月16日㈫、午後１時半から２時40分まで・シルバー人材センターの利用について
▷12月19日㈮、午後１時半から２時40分まで・再就職の心構え
■場所　大通りＭＯＲＩＯＫＡ「リリオ」2 階カルチャールーム

申し込みなど詳しくは、㈳岩手県雇用開発協会（☎019-654-2081）まで。

自宅で学ぶ「放送大学」の４月入学生を募集します

放送大学岩手学習センターでは、テレビなどの放送を利用して自宅で授業を行う通信制の大学「放送大学」の21年度第１学期生（４月入学）を次のとおり募集しています。

■募集学生の種類
【教養学部】
①科目履修生（６カ月在学し希望する科目を履修）②選科履修生（１年間在学し希望する科目を履修）③全科履修生（４年以上在学し学士の習得を目指す学生）
【大学院】
④修士科目生（６カ月在学し希望する科目を履修）⑤修士選科生（１年間在学し希望する科目を履修）
■申込期間　12月15日㈪から21年２月28日㈯まで

資料の請求など詳しくは、放送大学岩手学習センター（☎019-653-7414）まで。

住基カードを取得しｅ－Ｔａｘの活用を

所得税の確定申告に「ｅ－Ｔａｘ」を利用すると、①最高5,000円の税額控除、②添付書類が提出不要、③還付金がスピーディーになります。利用するには、住民基本台帳カード、ＩＣカードリーダーライターが必要となりますので、早目の準備をお願いします。

詳しくは、盛岡税務署（☎019-622-6141）まで。

Zoom Up 人

心の中のイメージを自分らしく表現できる そんな力が文章にはあるんです

伊藤　萌 さん

●いとう・もえ　西根中３年生。美術部に所属し、学級委員長を務める。欲しいものはボキャブラリー（言葉）。「影響されやすい性格」と自己分析する。好きな言葉は「われ以外、皆わが師なり」。担任の先生に憧れ、将来の夢は国語の先生になること。血液型Ａ型のかに座。大更在住。

ノートの端などに無造作に書きつづっていた言葉たち。いつもどおりの生活の中にある一瞬に、多くのことを感じ、思いをはせる。普通なら通り過ぎてしまうその瞬間をあふれる言葉で彩り、詩の中に切り取ってしまう。感受性が豊かという言葉だけでは言い表せないその詩の世界。第11回少年少女の詩で最高賞の江間章子賞を受賞した伊藤萌さんの詩を読むと、そう感じずにはいられない。

「夏の家で」と題したその詩は、毎年お盆になると遊びに行っている祖母の家でのことを歌っている。「ことしは受験生なので、頭の中は受験のことでいっぱい。せっかく遊びに行った祖母の家でも、ほとんどくつろぐことができませんでした。そのとき感じたいつものお盆との違いを詩にしてみました」と詩を作ったときの情景を教えてくれた。

大人になっていく自分を、祖母の家で感じる違和感で表し、受験を控えた焦りや戸惑いを抱える今と、何にも縛られていなかった昔を、昼と夕方のセミの鳴き声に重ねる。この詩を読み返すごとに、その情景が浮かび上ってくる。

「完成したときは、結論のない詩という印象だった」という。祖母の家で浮かんだイメージを家に帰ってから詩につづったため、完成まで時間がかかった。悩み、迷い、妹に読んでもらった。「妹にいいんじゃないと言ってもらえたことで、自信が持てました」と萌さんは胸を張る。夏休みの課題として書き上げた詩での受賞に「自分の心の中のことを歌った詩なので、みんなに読んでもらうのは恥ずかしかったけど、受賞はうれしい」と感想を聞かせてくれた。

文章と同じくらい絵を描くことも好きな萌さん。選挙ポスターコンクールで入賞したこともあるという。「文章も絵も、心の中を形にできるところが似ている。自分を表現できる」と魅力を語る。文章と絵、次はどちらの表現で一瞬を切り取るのだろう。

広報／はちまんたい　2008.12
平成20年12月４日発行
（毎月第１、第３木曜日発行）
発行／八幡平市役所　編集／企画総務部総務課　印刷／川嶋印刷株式会社
〒028-7192　岩手県八幡平市大更35-62　☎0195-76-2111　FAX0195-75-0469
ホームページアドレス　http://www.city.hachimantai.lg.jp/
この広報紙は、国際機関・森林管理協議会の認証を受けた森林認証紙を使用しています。